

令和6年度 学校だより



かづま

～共に学び、共に生きる～



令和7年 1月30日

石巻市立鹿妻小学校

第12号

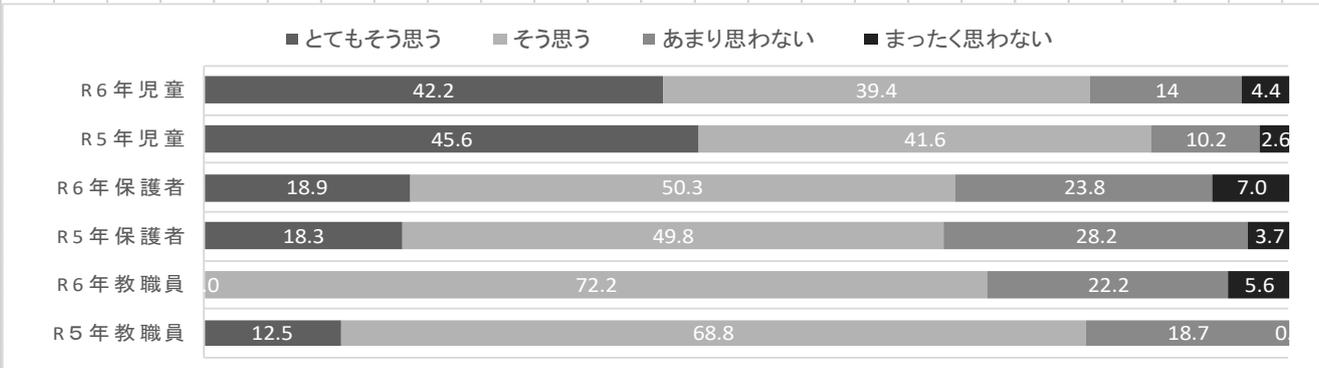
TEL 0225-93-9711

FAX 0225-93-9712

## 令和6年度 学校評価アンケート結果について PART2

### 4 「家庭学習に進んで取り組んでいる。」

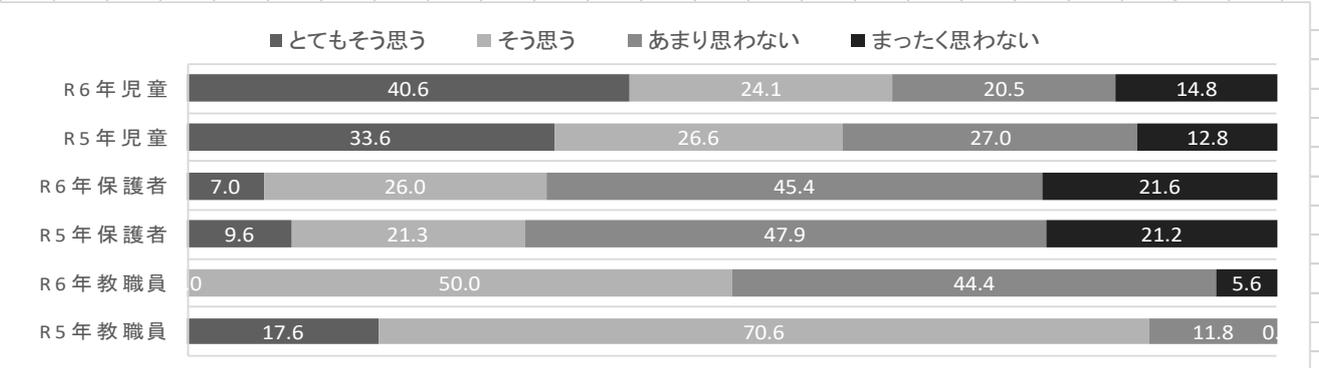
【%】



保護者の皆様の肯定的な回答は昨年度よりは若干上回っていますが、児童と教職員の肯定的な回答は減少しています。保護者の皆様の御協力により、少しずつ家庭学習の習慣が身についてきていると思いますが、家庭学習の取組については個人差もあり、まだ、十分に習慣付いていない児童もいるのが実態です。各学年の発達段階に応じて、質や量を考慮して実施してまいります。学校と家庭との連携が必要な取組ですので、御協力、子供たちへの励ましをお願いいたします。

### 5 「進んで読書をしている。」

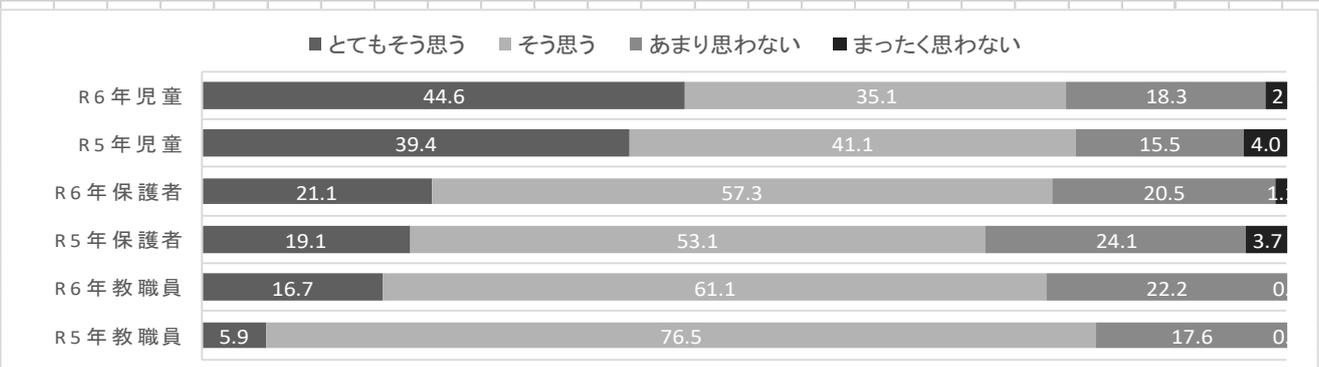
【%】



児童や保護者の皆様の肯定的な回答の割合が増加していますが、児童の割合で約65%、保護者の皆様の割合で約35%と全体の項目の中では、低い割合になっています。学校では図書委員会や先生方による読み聞かせ、図書祭りの実施、また、タブレットにYomokka(電子書籍読み放題サービス)を導入し、読書に親しむ環境を作っています。読書活動は、語彙力や知識量を増やしたり、コミュニケーション能力を伸ばしたりするのに効果的です。Yomokkaを入口に、実際に本を手にとることができるように、読書活動を一層推進してまいりますので、御家庭での御協力もよろしくをお願いいたします。

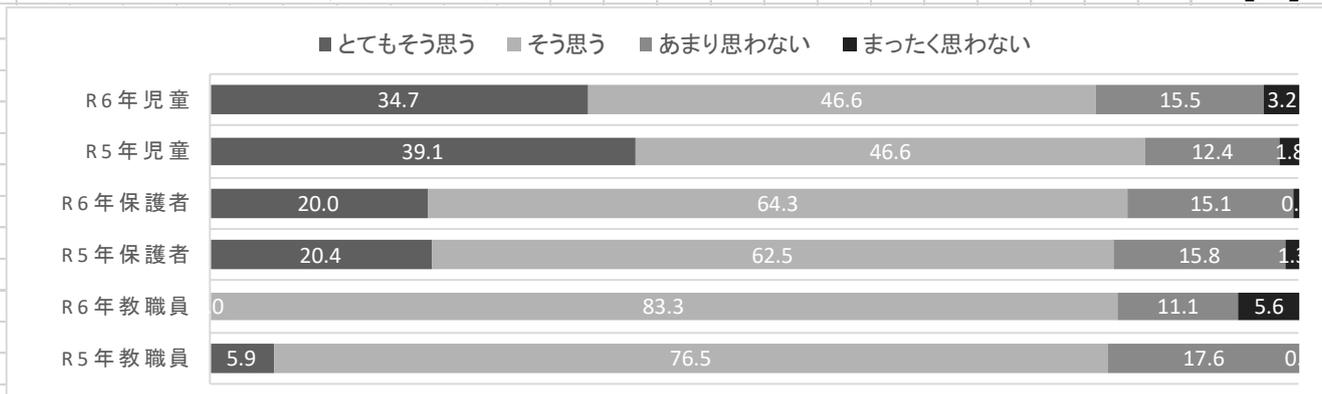
### 6 「だれにでも明るい挨拶をしている。」

【%】



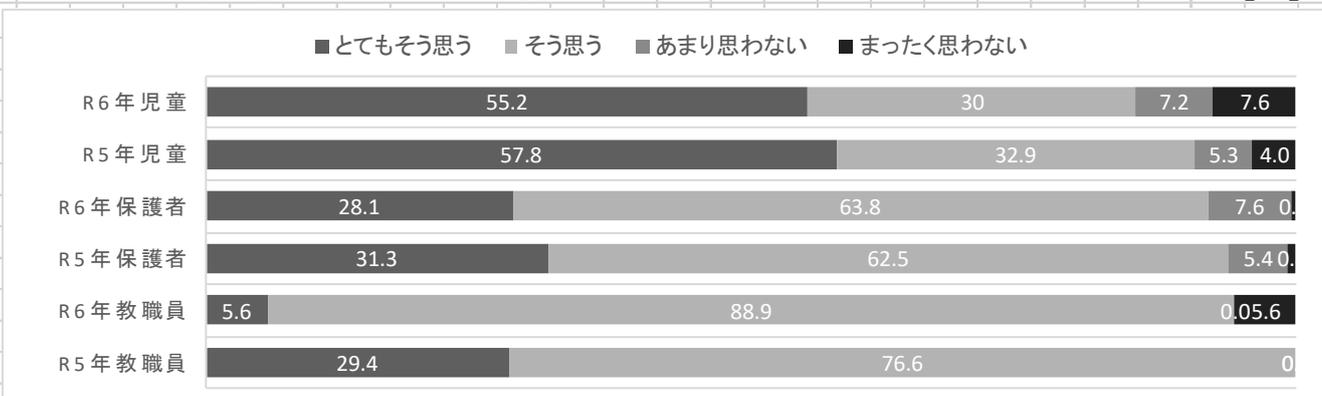
児童の肯定的な回答は約80%ですが、昨年度より減少しています。保護者の皆様の肯定的な回答は6.2%増加しています。校内の児童は挨拶をしている姿を多く目にすることができています。しかし、挨拶に対して消極的な児童も一部には見られます。元気よく気持ちの良い挨拶ができていない児童や教職員を手本としながら、誰にでも挨拶ができるように指導を継続していきます。また、来校者や地域の方々にも積極的に明るい挨拶ができるように指導をしていきます。

7 「相手の立場に立って考え、行動している。」 [%]



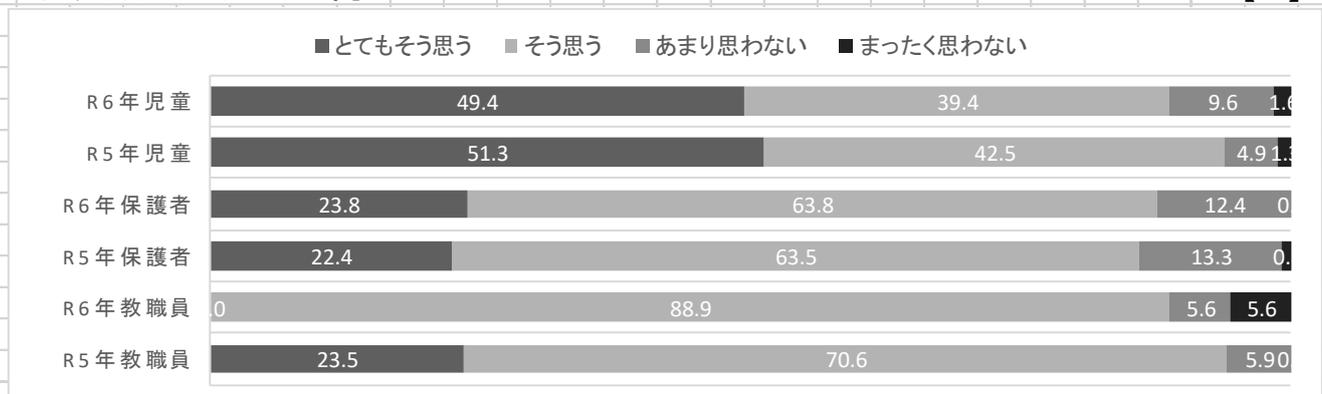
児童の肯定的な回答は約80%を超えているものの、昨年度より4.4%減少しています。保護者の皆様や教職員の肯定的な回答は若干増加しています。相手の立場になって考えることは、交友関係を培う上では重要になってきます。道徳や学級活動等の時間を中心に、全ての教育活動で折に触れ、指導を継続していき、児童の意識を高めることができるようにしてまいります。

8 「人をいじめたり、迷惑をかけたりにしていない。」 [%]



児童・保護者・教職員すべてで肯定的な回答が80%を超える割合になってはいますが、すべての対象者で減少しています。これまでも「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導を続けてきましたが、今後も継続して指導を行ってまいります。また、他の人に迷惑をかけない行動の仕方についても、具体的な例を挙げながら、丁寧に指導を行っていき、児童自身がしっかりと振り返ることのできる機会をつくってまいります。

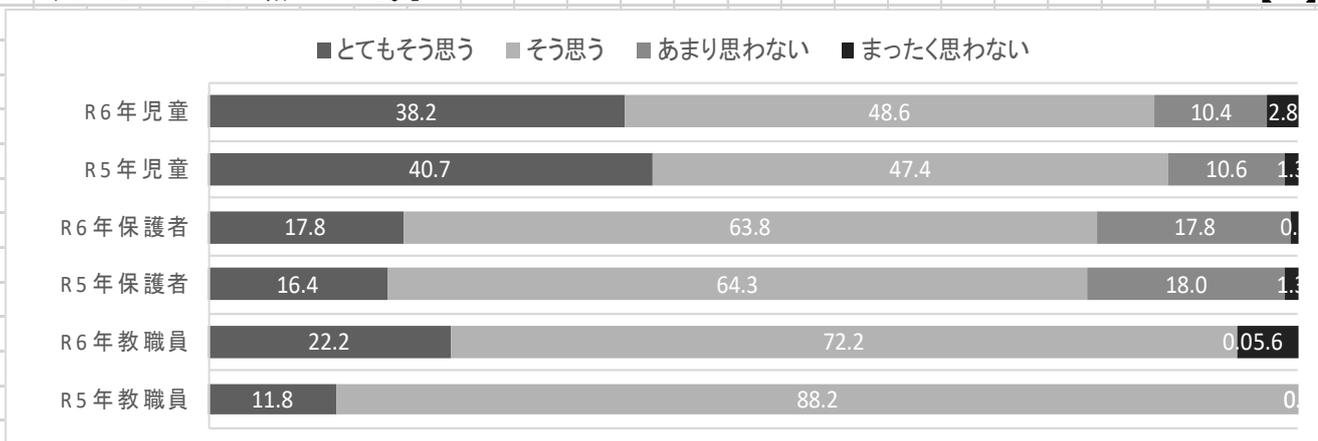
9 「約束や決まりを守っている。」 [%]



保護者の皆様の回答として、「とてもそう思う」「そう思う」共に、割合が増加しています（「とてもそう思う 1.4%」、「そう思う 0.3%」）。しかし、児童・教職員の肯定的な回答の割合が減少しました（児童5%、教職員5.2%）。学校内での約束や決まりは守ることができている児童が増えたように思いますが、休日や放課後の過ごし方（公園での遊び方、自転車の乗り方等）で約束や決まりが守られていないということをよく耳にします。学校生活はもちろんのこと、社会生活においても、約束や決まりがしっかりと守れるよう指導を継続してまいります。社会生活においては、御家庭での御協力も必要となりますので、よろしくお願いたします。

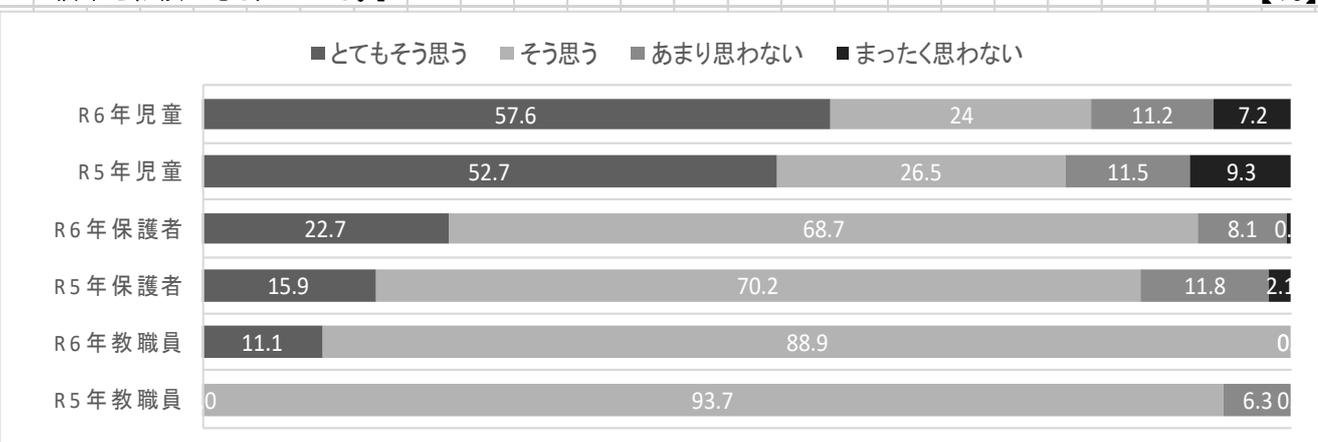
【裏面も御覧ください】

10 「人のために進んで働いている。」 【%】



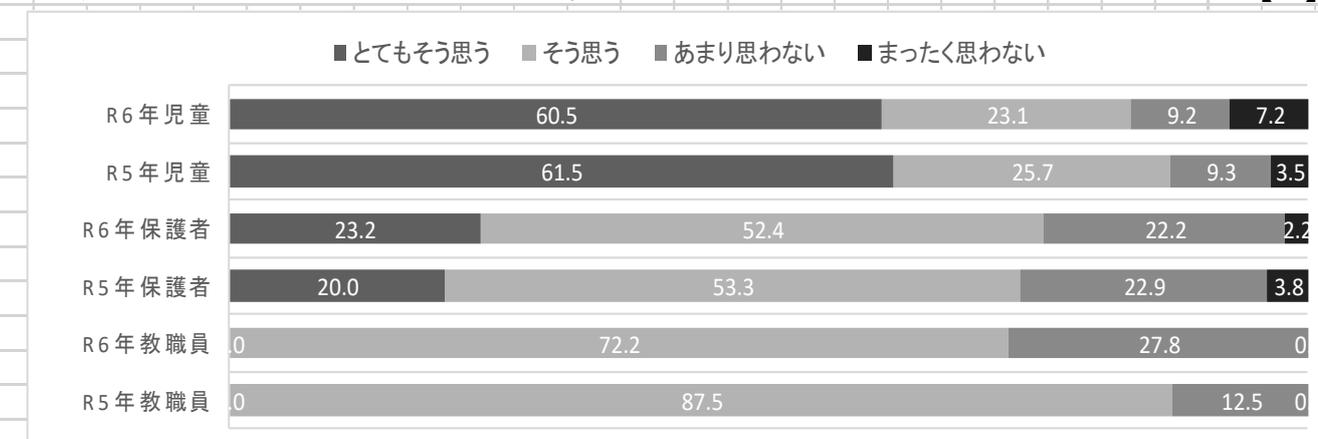
保護者の皆様の肯定的な回答は若干増加しています(0.9%)。児童と教職員の肯定的な回答は減少しています(児童1.7%、教職員5.6%)。特に校内での清掃活動にはほとんどの児童が一生懸命に取り組んでおり、その姿は本校児童の良さでもあります。また、学校では係活動や当番活動、高学年の委員会活動も「誰かのために役だった」という自己有用感や「みんなのために」という奉仕の気持ちを育む大切な活動ととらえております。御家庭でも是非、お手伝いに取り組みさせていただければと思います。

11 「悩みを相談できる人がいる。」 【%】



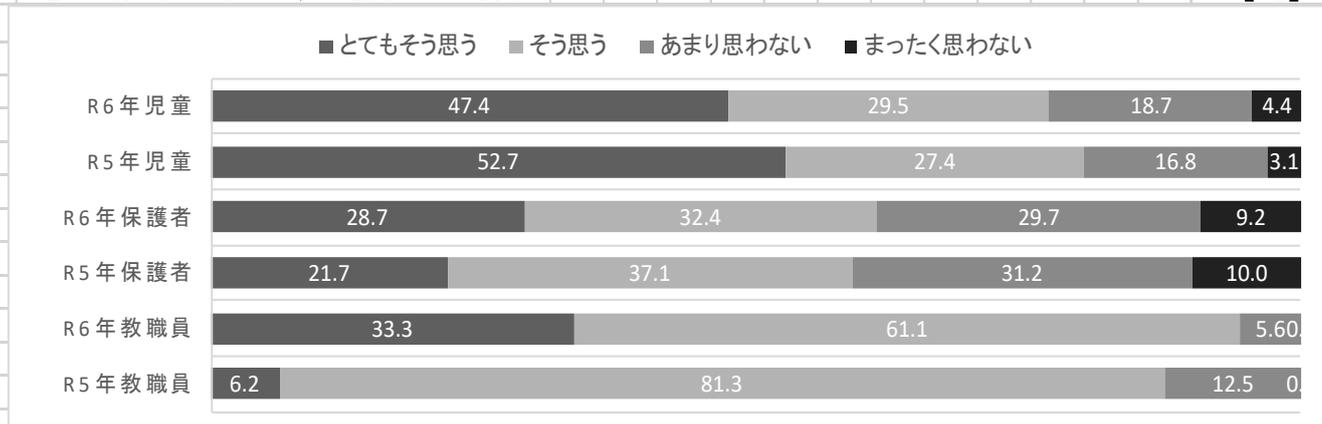
児童・保護者・教職員の全てで肯定的な回答の割合が増加しています(児童2.4%、保護者5.3%、教職員6.3%)。さらに、「とてもそう思う」という回答の割合もすべて増加しています(児童4.9%、保護者6.8%、教職員11.1%)。児童が相談できる相手がいることは、学校や家庭での安心な生活につながります。20%未満の児童が「相談できる相手がいない」と回答していますが、学校では児童の様子を観察しながら、相談体制づくりを構築したり、スクールカウンセラーと連携したりするようにしています。御家庭でもお子さんが悩みを抱えているような場合は、相談にのっていただいたり、学校へ相談していただきたいとします。

12 「自分の将来についての夢や希望をもっている。」 【%】



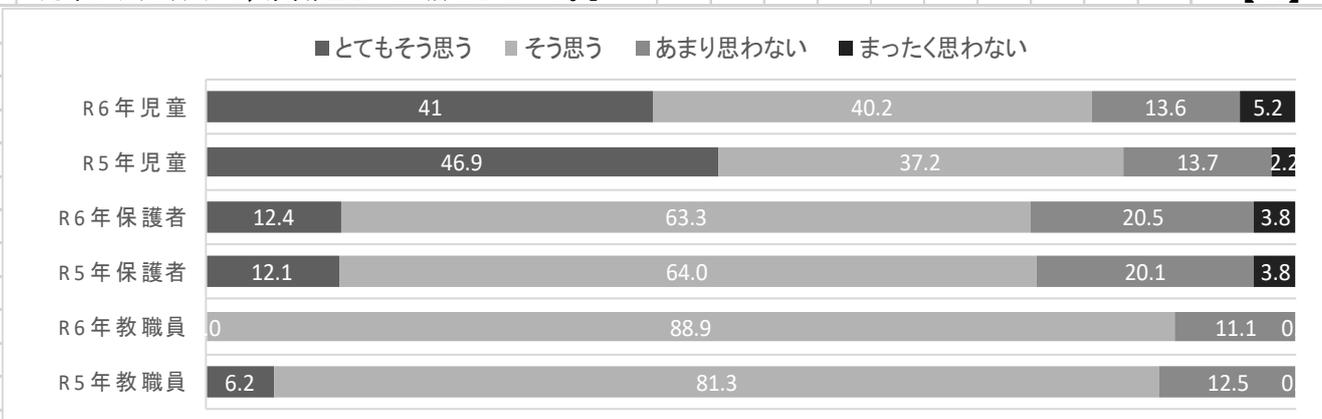
児童の肯定的な回答は、80%は超えているものの、昨年度より3.6%減少しています。保護者の皆様の肯定的な回答は昨年度より2.3%増加しています。しかし、児童と保護者の皆様の回答に8%の乖離があります。日々の授業や学級活動をはじめ、お話朝会で教員が自分のあゆみ、子供の頃に描いた夢を語る機会、また、様々な外部講師による体験活動や講話などを通して、子供たちが自分の将来や夢について考える場面を数多く設定してまいりました。具体的な将来の夢でなくても、「こういう大人になりたい」「こんなことをしてみたい」という抽象的なことでも将来をイメージすることは大切だと思います。御家庭でも機会を捉え、お子さんの将来についてお話しする時間を設けていただけると幸いです。

13 「進んで運動に取り組み、体を鍛えている。」 【%】



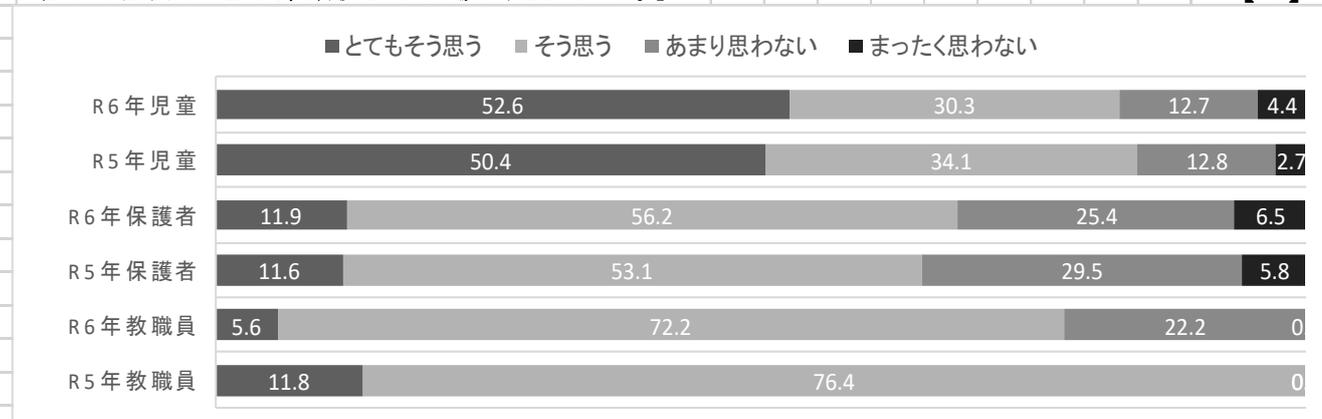
児童の肯定的な意見は、3.2%減少しており、合算しても80%を切る結果となりました。保護者の皆様の肯定的な回答は2.3%増加しているものの、児童と保護者の皆様の回答では、今年度の結果では15.8%の乖離が見られます。学校では外遊びを奨励し、休み時間には寒くても元気に外で遊んでいる児童の様子が多く見られます。しかし、個人差もあり、室内で静かに過ごしたいと思っている児童もいます。学級全体で取り組むことができるように、Web縄跳びを実施したり、体力テストの記録向上を目指して教材を準備したりと日常的に子供たちが運動に親しめるような取組を今後も継続していきたいと思っております。

14 「健康に気を付けて、規則正しい生活をしている。」 【%】



保護者の皆様や教職員の肯定的な回答はほぼ同等ですが、児童の肯定的な回答が3%減少しています。規則正しい生活を行うということは、一日のリズムを作り、体調を整えることができます。夜遅くまで起きていれば、朝起きることができなかつたり、体調を崩したりする結果になりかねません。規則正しい生活を習慣づけることは、とても大切です。「早寝・早起き・朝ご飯」のスローガンの下、規則正しい生活ができるように、御家庭でもお声掛けをお願いいたします。

15 「苦手や面倒なことでも、最後までやり抜こうとしている。」 【%】



児童・教職員の肯定的な回答が減少しています(児童1.6%, 教職員22.2%)。また、本年度の結果では、児童と保護者の皆様の肯定的な回答が14.8%乖離しています。保護者の皆様や教職員は児童の取組にもっと頑張れるという気持ちがあると思われます。学校では、子供たちの頑張りを認めながら、最後までやり抜くことができるように励ますことで、より望ましい行動がとれるように指導していきたいと考えています。御家庭でも御協力をお願いいたします。